

シラバス

2019 年度

研究科

本物にふれる 本当の力をつける



学校法人高澤学園 美術造形専門学校

創形美術学校

ファインアート科 / ビジュアルデザイン科 / 研究科

履修ガイド

1 . カリキュラム

- (1) 授業について単位を修得するためには2/3以上の出席が必要となる。止むを得ず授業を欠席する場合、必ず事前に学校へ連絡すること。
- (2) 原則、指導日の授業開始時に出欠確認を行う。遅刻・早退は記録し、欠席扱いとなる場合がある。
- (3) 交通機関の遅れに関しては必ず遅延証明書を提出すること。
- (4) 各授業のシラバスには授業内容の他、学習目的、予習、準備物、注意事項とともに評価方法及び教員・講師の出校日も記載。授業の1週間前にはアトリエにシラバスを掲示。また学校ホームページでも確認することができる。
- (5) 指導日以外は授業が休みということではない。指導日以外の日も各自で制作を進めること。授業期間で制作を行うことで時間数に基づき単位がそれぞれ設定されている。スケジュールを確認し、作品提出日をしっかり守ること。
- (6) 気象庁より23区に災害警報（暴風警報・大雪警報等）が発令された場合は原則休校となる。その場合は、学校から休校のメール連絡を行う。
- (7) 日曜、祝日において基本的に学校は休日（付帯教育は除く）となるが、場合により日曜、祝日を授業日とすることがある。新年度ガイダンス時配布のスケジュールに記載されるのでよく確認をすること。
- (8) 日曜において授業日以外の目的でアトリエを学生に開放して制作を行うことができる場合がある。ただしこの場合、使用できるアトリエは学校の指定する教室のみとなる。開放日においては新年度ガイダンス時配布のスケジュールに記載されるのでよく確認をすること。

2 . 単位の認定

- (1) 実技=課題の採点により合格と認定のあった学生には、所定の単位を与える。
学科=試験、課題(レポート含む)等の採点により合格と認定のあった学生には、所定の単位を与える。
- (2) 単位計算の基準=各授業科目（実技、学科共）に対する単位は週90分半期17週相当（25.5時間）の授業をもって1単位とする。

3 . 修了の要件

本校の学生が修了するには1年以上在学し、かつ所定の32単位以上修得しなければならない。

4 . 履修に関する注意

- (1) 学生の履修は在籍する科の指示に従い、受講する科目は原則として全て履修する。
- (2) 授業途中からの受講は原則として認めない。
- (3) 受講した科目は、原則として変更することはできない。
- (4) 選択を希望する科目で受講人数が多い場合は、人数制限を行う事がある。

5 . 採点について

- (1) 科目の採点は、授業終了時に行なわれる。
- (2) 必要に応じて授業内で課題(レポート含む)提出を複数回、行なうことがある。
- (3) 採点の方法は課題(レポート含む)の提出による採点とする。
- (4) 受講した科目は課題(レポート含む)を提出して採点を受けなければならない。
- (5) 受講した科目の出席日数が、3分の2以上に満たないものは、原則として採点を受けることができない。
- (6) 授業料等未納者は原則として科目を受講する資格がない。

6 . 追採点

病気その他やむを得ない事由により課題(レポート含む)を提出することができなかった者に対し、事前にその旨連絡のあった場合に限り、願い出により実施することができる。ただし課題(レポート含む)内容は授業内の課題(レポート含む)と異なる場合がある。

7 . 採点基準

- (1) 課題(レポート含む)の採点は、60～100を合格とし、それ以下を不可とする。
- (2) 配点区分は次による。

採点	評価	
100～95	AA	合格
94～80	A	
79～70	B	
69～60	C	
59～ 0	D	不可
保留	-	仮処置

8 . 修了資格判定及び修了判定

- (1) 前期授業と後期授業において未提出課題のある学生はすみやかに学校の指示に従い、課題（レポート含む）の提出を行わなければならない。
- (2) 修了年次においては11月に修了資格判定を行い、判定結果の掲示を行う。その際に出席、学科、実技などを考慮した結果、修了資格なしと判定のあった者は修了制作を着手する事ができず、修了不可となる。判断保留の学生については、3月において修了判定を行い、単位の修得状況によっては修了制作の提出があっても修了不可となり、修了延期となる場合がある。
- (3) 学費において未納がある場合、修了判定において修了不可もしくは除籍となることがある。

9 . 参考作品について

提出のあった課題作品、およびレポートについては原則として採点終了後、すみやかに返却を行なう。場合により参考作品として一定期間預かり、授業の資料として授業時やガイダンスなどで使用する事がある。また、学校案内用の印刷物や広報（Web や SNS）および学校外など授業以外での目的で作品を使用する事がある。

【研究科・研修生】

目的

大学や専門学校を卒業後、1年間でより深く専門分野の知識や技術を取得し、以下の事を目的とします。

「自立した創作、研究活動の確立」

「プロに必要なビジネススキルを習得」

特徴

1. 自在に授業選択が可能な受講プログラム（*美術進学コースは対象外。）
2. 実践的な授業カリキュラム
3. グローバル社会を意識した世界水準の教育
4. プロのクリエイターによる直接指導
5. 充実した環境と設備

コース別の特徴

〈アート研究コース〉

- 1つのテーマを掘り下げて研究することが可能
- 創形美術学校“作品”展、大学版画展などの学外展示の参加
- 研修派遣員の応募が可能（パリ国際芸術都市研修生・メキシコ研修派遣員）

〈デザインビジネスコース〉

- デザイン制作会社への就職に必要な知識とスキルを身につけることが可能
- 就職支援を受けられ、インターンシップへの参加も可能
- 「webコミュニケーション」「UIデザイン」「ポートフォリオ」「著作権」「日本語」などの講座

〈美術進学コース〉

- 大学院受験に特化したカリキュラム
- 「大学院進学」「小論文」「論文の書き方」「ステートメントの作成」「ポートフォリオ」「日本語」などの講座
- 個人面談を通じて、希望校に合わせた受験対策をアドバイス
- 模擬面接試験の実施

研究科

■ アート研究コース・デザインビジネスコース・美術進学コース

	授業科目	履修形式	単位数
学 科	英会話	選択	2
	フランス語 I	選択	2
	特別講座	選択	1
	日本語(*留学生対象)	必修	2
実 技	総合研究		
			小計 16 以上
* 習得する科目の合計が 16 単位以上にならない			
	修了制作/研究テーマ制作	必修	16
	合計		32

授業名：「修了制作」「研究テーマ」

担当講師：山本哲次、工藤礼二郎、鈴木吐志哉、岡山拓史、飯田 淳

学習目標／授業内容：

〈アート研究コース〉 後期より修了作品の制作。ポートフォリオの完成。

〈デザインビジネスコース〉 オーダーメイドカリキュラムシステムによるそれぞれの専攻分野による後期授業の履修及び習得。

ポートフォリオ(就職試験用)の完成。

最終的に日本での業界就職を目指す。

〈美術進学コース〉 それぞれの専攻分野による「研究テーマ制作」の履修及び習得。

ポートフォリオ(入学試験用)の完成。

最終的に美術大学大学院への入学を目指す。

学校法人高澤学園

創形美術学校

〒171-0021 東京都豊島区西池袋 3-31-2

TEL 03-3986-1981 FAX 03-3986-1982

URL <https://www.sokei.ac.jp/>

E-mail:sokei @ sokei.ac.jp